

ウィークポイント

取材・文／藤崎雅子

アドバイス



東京都立白鷗高校・附属中学校 進路部
岡本眞一郎先生
都立青山高校、戸山高校といった進学校で進路主任を歴任し、2013年より現職。「教師は生徒に作られる」という思いで、生徒と共に成長する」が信条。

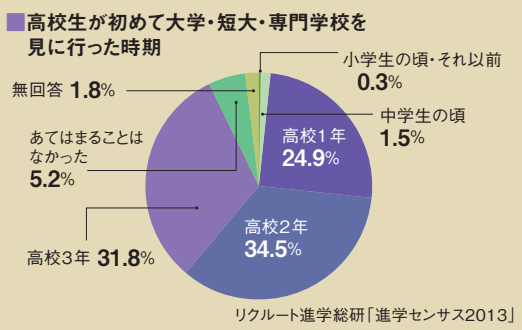


山形県立新庄北高校 進路指導課
延沢恵理子先生
教師生活19年のうち16年進路指導に携わる。高校進路指導に携わる全国の女性の先生有志で「進路女子会」を結成し、より良い進路指導実践を目指して活動中。

聞き流さないで！その時の子どもの発言

インターネットの情報で十分だよ

インターネットや印刷物では、学生のタイプ、教員の対応のていねいさ、通学ルートの便利さ、キャンパスの周辺環境などがわかりにくい。また、その大学との相性を肌で感じる事が難しい。



行けば何か
教えてくれるんでしょ？

自分で疑問やチェックポイントもっていないと、一般的な情報しか得られず、「自分にとってどうか」を確認できない。この大
学も同じに見えてしまう危険も。

オープンキャンパス

見学や体験入学などに参加し、
大学・専門学校の様子を
自分の目でチェック。

行ったら
すごく良かった！
ここに決めた

楽しいプログラムが用意されているオープンキャンパスに初めて参加すると、その学校が実際以上に魅力的に見えるもの。ほかと比較しないと、本当の良さや特徴はわかりにくい。

第一志望校だけ
行けばいいよね

学校選びの材料となり
進学意欲アップに効果的

多くの大学・専門学校は夏休みごろ、オープンキャンパスなどの見学会イベントを開催します。参加すると、大学や専門学校で学ぶイメージが具体化でき、志望校選びや、勉強のモチベーションアップに役立ちます。高校でもこうしたイベントへの参加を推奨。事前に学校情報を調べさせ、参加後にレポートを提出させるなどの指導を行い、参加効果アップを図っています。

1年生の時から参加し
複数校を比較

「大学なら、できれば国公立と私立、それぞれ2校以上見ておきたい」と岡本先生。複数校を比較することで、自分に合う学校がより明確になります。調査によると先輩高校生は平均3・56校の学校イベントに参加（※1）。4人に1人が1年生の時から学校見学を行っています（上図）。

参加する際は、あらかじめ学校情報を調べて知りたい項目をあげておき、積極的に先生や先輩に質問しましょう。また、オープンキャンパスだけでなく、学園祭や普段の日など多様な場面を見られると学校選びに役立ちます。

※1：リクルート進学総研「進学センサス2013」

わが子のケースを記入

今年度に行っておきたい学校

① ② ③

先生からのアドバイス

Blank space for writing advice from teachers.

保護者の目配り

保護者の目線での
チェックも役立つ

学校見学における保護者の役割はまず、交通・宿泊の手配や費用の面でのサポートでしょう。また、「志望校なら保護者も一緒に見学しておく」と安心」と延沢先生。教員のフォロー体制や周辺環境など、子どもは目が届きにくい部分も大人の視点でチェックできます。保護者が学校を見る際に心がけたいのは、かつての学校イメージや先入観を改めること。「大学や専門学校の取り組み内容、人気や難易度は、保護者の時代からだいぶ変わっています。現状を知ったうえで子どもの相談に乗ってほしいと思います」（岡本先生）

目配りするなら
ここ!

進路行事 子どもたちの

進学に向けた4つの重要な進路行事について、その意味や保護者の目配りポイントを紹介し、子どもの反応の裏側にある意外な落とし穴を知り、適切なかわりをしていきましょう。

聞き流さないで！その時の子どもの発言

今は公務員が
一番安心だよね？

長引く不況や雇用不安の影響で、安定や待遇を気にするあまり、自分の興味・関心や仕事のやりがいを抜きに将来を考えていることがある。

どうしよう、
まだやりたい仕事
決められない…

大学に進んだからといって、待っているだけで急にやりたい仕事が見えてくるわけではない。また、頭で考えているだけで何も行動を起こさないと、やりたいことにも出会いにくい。

興味をもつのは良いことだが、仕事のプラス面とマイナス面のどちらかしか見ていないと、その仕事の現実や、自分に合うかどうかはわからない。

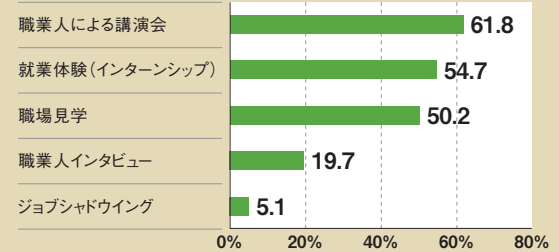
この仕事楽しそう！
これに決めた！

仕事のことは
大学に行ってから
考えればいいんじゃないの？

仕事調べ

仕事研究、社会人講話、職場見学、インターンシップなどを通じ、将来の仕事について考える。

職業を知るための高校進路指導の実施状況(複数回答)



リクルート進学総研「高校の進路指導・キャリア教育に関する調査」(2012年)

将来の仕事を考える
きっかけを提供

どんな仕事に就きたいかは、大学の学部・学科選びに大きくかわります。そのため高校では、主に1~2年生を中心に職業調べ、職業人講演会、職場見学、インターンシップなどさまざまな進路行事を設定し、仕事や働くことについて考える機会を提供しています(上図)。

自分でも積極的に
情報収集することが大切

高校に入学したばかりのころは、「将来やりたいことがわからない」という高校生が多いといえます。「みんな同じような状況。高校生活で少しずつ見つけていけば良い」と岡本先生。焦る必要はなさそうです。

進路行事では多様な働き方や職業観に触れます。ただしそこで出会う職業の数はわずか。進路行事をきっかけとして、興味をもった仕事については自分で積極的に深めていきましょう。その際のポイントとして、延沢先生は「やりがいや楽しさなどプラス面だけでなく、大変さや苦勞などマイナス面にも目を向けて」とアドバイスしています。

わが子のケースを記入

お子さんの学校で行われる職業調べ・体験

()年生()月ごろ

内容

先生からのアドバイス

保護者の目配り

子どもが主体的に
探せるよう後押しを

「公務員がいいわよ」など保護者の希望や価値観を一方的に押し付けることは、子どもの進路選択の妨げに。しかしながら、「保護者は子どもにとっても身近な社会人の先輩」という延沢先生は、家庭で自身の仕事を語ることを勧めています。そこから、仕事の楽しさや大変さを知り、働くとはどういうことかを学ぶことができるでしょう。

また、子どもが将来の目標を探しあぐねている様子なら、「保護者は子どもの行動の後押しを」と岡本先生。「○○の記事があったよ」と情報提供したり、「○○に参加してみたら？」など声をかけよう。

数学ニガテだから
文系しか
ありえない！

科目の得意・不得意だけで
短絡的に選ぶと、受験や目
指す職業に必要な科目を
とりこぼし、進路の幅を狭
める可能性がある。

国語で点数を稼げるから
文系にしよう

〇〇学部行くな
ら文系でしょ

目指す学部の受験や勉強に必要な科目をよく調べずイメージだけで選ぶと、受験の選択肢が狭まったり、大学入学後に改めて高校の内容を勉強しなくてはならなくなることも。

文理・ 科目選択

希望進路の必要性に合わせて、
翌年度以降の
選択科目を決める。

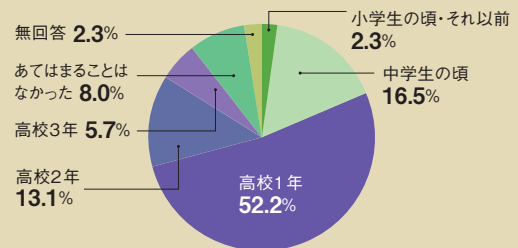
聞き流さないで！その時の子どもの発言

理科は嫌いだけど、
資格が取れるから理系

就職の有利さ、文系への変更しやすさから、「とりあえず理系」という高校生が増加しているが、適性も興味・関心もない場合は授業についていけず苦勞する。

つぶしがきくから、
とりあえず理系

■高校生が文理を決めた時期



リクルート進学総研「進学センサス2013」

進路を方向づける 重要な選択

それぞれの進路に必要な科目を重点的に学べるよう、多くの普通科高校では2年生もしくは3年生で文理分け、または科目選択を行います。前年度の秋ごろ、ガイダンスや資料を通じて入試との関連や選択の仕方などの説明を行うたうえで、冬休み前に希望調査をとるのが一般的です。

興味があるかどうかは 大事なチェックポイント

文理選びの観点は「適性(得意・不得意)」「興味」「目指す仕事との関連」などさまざま。「とりあえず」の選択でなければ、何を重視して選ぶかは人それぞれでよいでしょう。ただし、「興味」があるかどうかは、大事なチェックポイント。「興味があることなら、不得意も努力で克服できる可能性があります」(岡本先生)。

また、もしすでに目指す学部・学科がある場合は、受験科目や進学後に必要な勉強を調べたうえで選択するといでしょう。経済学や心理学などは数学が必要となる場合もあるように、文系学部でも理系教科を学んでおくとう利なケースもあります。

保護者の日記り

むやみに理系を
推すのはやめよう

希望調査用紙提出の際には、印鑑などで保護者の承認を求めめるのが一般的。それだけ進路にかかわる重要な選択ということですから。子どもがあまり考えていないようであれば、保護者からの声かけも必要でしょう。ただし、「基本となるのは本人の考え」と岡本先生。保護者としては就職しやすさが気になるのですが、むやみに理系を勧めるのは避けたほうがよさそうです。

また、複雑化した入試との関連や学問内容は、保護者にもアドバイスが難しいところ。子どもが迷っているようなら、先生への相談を勧めてみてはいかがでしょうか。

わが子のケースを記入

文理選択の時期

()年生()月ごろ

先生からのアドバイス

()

学部・学科 選び

職業調べ、学問分野調べ、
学校見学などの経験をもとに、
進路を方向づける。

聞き流さないで！その時の子どもの発言

就職に
困らなそうだから
○○学部にするよ

就職率や資格取得率が高い
学部でも、適性や興味・関
心があれば就職や資格取
得にはつながりにくい。

やりたいことなんて
特にない。学部・学科は
どこでもいいよ

しっかり検討しないで決めると、進学後
にミスマッチを起こしやすい。特に理系
学部は大学入学時に専攻まで決める
場合が多く、あとからの変更が難しい。

○○学部で資格を取って
おけば安心だよ

○○大学に入れば
何学部でもいい！

『環境』がつく学科なら、
似たようなことが
学べるんでしょ？

同じ学部・学科名でも、学校によって学び方、先生
の専門分野、資格取得率、学生のタイプなどはさま
ざま。特に、「環境」「国際」「情報」など時代のキー
ワードを冠した新しい学科は、似た学科名でも学ぶ
内容が大きく異なる場合がある。

それまでの体験や情報を
統合していったん決める

3年生夏にはAO入試が始まる
ので、高校では春ごろに進路希望
調査で意思確認を行うケースが一
般的。それまで考えたこと、得た
情報をもとに、具体的な学部・学
科に落とし込みます。これが最終
決定ではなく、このあたりもガイダ
ンや面談を重ね、出願先を決定し
ていきます。

学びたいことを軸に
複数の情報源から検討

「学部・学科選びは、学びたいこと
選び」と岡本先生。何を学びたい
かという観点は欠かせません。「な
かなか選びきれない場合はいった
ん、受験科目を絞らない国公立大
学や、さまざまな分野について学べ
るリベラルアーツ系の学部を目標
にしてみてもいい」（岡本先生）

また、学部・学科の名称だけで
判断するのではなく、内容や学校
による違いをよく調べることが大
切。先輩たちは「進学情報誌」「オ
ープンキャンパス」「パンフレット」な
どさまざまな情報源を活用して
います（上図）。複数の情報源を活
用して、多面的にチェックしまし
ょう。

保護者の目配り

「なぜ？」と問いかけ
子どもの考えを深める

「最近自分であまり考えよう
とせず、大人の意見を素直に聞く
高校生が多い」と延沢先生は指摘
します。子ども自身がしっかり考
えられるよう、保護者にも工夫が
必要です。「それには保護者の問
いかけが効果的」と延沢先生。子
どもと進路の話をする際に適宜、
「なぜそうしたいの？」「ほかにも
あるけれどなぜここ？」など質問
を挟むことで、子ども自身の考え
を深めさせましょう。

また、「子どもの考えは常に進
化しているので、出願直前の変更
もありえる」と岡本先生。一度決
めたからそのままと思いません、
急な変更にも対応したいですね。

わが子のケースを記入

お子さんが興味ありそうな学問分野
① ② ③

先生からのアドバイス